

～未来の子どもたちのために～

教育は、 国家繁栄の根幹を成すもの!!

未来ある子供たち、
未来ある日本ため
地域全体で子供たちを育てていくことが重要
小坂文部科学大臣に質問提案をいたしました。

(平成18年3月)

① 感動を与える教師の派遣

感動こそが、子供を育てると考えています。

② 教育基本法について質問

礼節についての教育導入が必要と考えます。

企業では「やる気×能力=業績」と言われ
教育に力を入れます。

学校教育も、いかに「やる気」を持たせるか
が重要です。

このためには「感動こそが教育」と思います。

“師と仰げる先生”にめぐり合えれば、生徒たちのその後の人生を豊かなものとできるのです。
そのきっかけをたくさん作っておきたいのです。



教育は国がしっかり責任を 負うものだと思います

部会でも積極的に発言

奨学金の拡大

高校・大学また所得に関係なく子どもたちから申請が出た場合、誰でもが借りられるように提案、質問しました。



～めざせ科学の世界～

見直される原子力発電



エネルギーの争奪戦が大戦への導火線にならないために、また、地球の限りある資源を守るために

日本が世界の先頭に立ち、省エネや安全な安全な代替エネルギーの開発に力を注がなければなりません。「日本の科学技術を進歩させること!」が第一です。

●見直される原子力発電

日本の総電力量の30%は原子力発電で賄われている。石油不足の高騰から原子力発電が世界的にも見直されています。

今、進められているプルサーマルとは、廃棄される核燃料を再処理、再々処理して使用することで今ある核燃料で20年くらいは発電可能とするものです。

そして、更により安全なエネルギーの開発技術として、重水素による公害「〇」のエネルギー開発研究が進められつつありますが、こうした先端技術の開発に政治の力を注いでゆきたいと思っています。

新潟柏崎原子力発電所を視察
(平成18年2月)



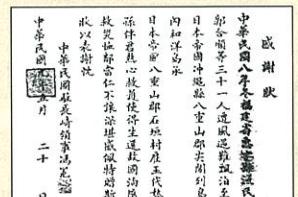
尖閣列島は日本固有の領土です。しかし、上空から見ると中国の油田開発が進み、尖閣列島を取り巻く東シナ海はまるで中国の油田パイپ通りの様で、油田基地付近では中国の軍艦が何隻も停泊していました。



空から尖閣列島を視察
(平成18年3月)

エネルギーの争奪が戦争の歴史、日本は争いを避けながらも世界に対し「言うべきことは言い」一方、限りある資源を大切に、日本は省エネ、代替エネルギーの開発に力を注ぐ必要があります。

沖縄県石垣市役所に
保管されている「感謝状」



写真の感謝状は、大正9年冬、魚釣島近海で遭難した中国人31人を八重山島府(当時)石垣島村総出で救出し、無事本国に帰還させたことに、石垣村村長ら4名に中華民国長崎総領事から送られたものです。この感謝状で魚釣島を「日本帝国沖縄県八重山郡尖閣列島内和洋島」と記し、日本領土と認めているのです。